



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 江崎グリコ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 2206 URL <https://www.glico.com/jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 江崎勝久  
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 高橋真一 TEL 06-6477-8404  
ファイナンス部長  
半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 2024年9月5日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	154,024	0.6	8,869	9.7	9,625	△5.9	3,667	△53.1
2023年12月期中間期	153,135	10.1	8,086	17.6	10,229	28.4	7,817	65.5

（注）包括利益 2024年12月期中間期 16,550百万円（△7.2％） 2023年12月期中間期 17,830百万円（0.4％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	57.67	—
2023年12月期中間期	122.93	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	372,215	274,381	73.6
2023年12月期	395,743	263,116	66.3

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 273,775百万円 2023年12月期 262,543百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2024年12月期	—	45.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	45.00	90.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	336,000	1.0	14,000	△24.8	16,000	△24.8	11,000	△22.2	172.98

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社（社名）株式会社Greenspoon、除外 1社（社名）－

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記（3）中間連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）」をご覧ください。

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	68,468,569株	2023年12月期	68,468,569株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	4,868,241株	2023年12月期	4,878,498株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	63,595,161株	2023年12月期中間期	63,590,628株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益及び包括利益計算書 .....	6
中間連結会計期間 .....	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	8
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
※参考資料 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信補足説明資料 .....	11

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2024年1月1日～2024年6月30日）における我が国経済は、雇用・所得環境が改善するなか、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、物価上昇、不安定な世界情勢、世界的な金融引き締めによる海外景気の下振れリスク等により依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、存在意義（パーパス）である「すこやかな毎日、ゆたかな人生」の実現に向け価値創造を強化し、①健康価値の提供・お客様起点のバリューチェーンの構築、②注力領域への研究投資の集中、③海外事業の拡大に向け取り組みました。

一方、バリューチェーン構築と経営の迅速な意思決定を目的に、2024年4月3日に切り替えを実施した当社の基幹システムにおいて、システム障害が発生したことにより、チルド商品（冷蔵品）の出荷業務を停止いたしました。必要な対策を行った上で、安定供給の観点から、6月25日より段階的な出荷再開を進めております。

その結果、売上面では、システム障害に伴うチルド商品出荷停止の影響により、主に、乳業事業で大きく前年同期を下回ったものの、栄養菓子事業、食品原料事業、海外事業で前年同期を上回ったため、当中間連結会計期間の売上高は154,024百万円となり、前年同期（153,135百万円）に比べ0.6%の増収となりました。

利益面につきましては、売上原価率は、海外事業における中国、米国で低下したこと等により前年同期に比べ2.9ポイント低下しました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝費、給与及び手当等が増加しました。

その結果、営業利益は8,869百万円となり、前年同期（8,086百万円）に比べ783百万円の増益となりました。経常利益は為替差損等により、9,625百万円となり、前年同期（10,229百万円）に比べ604百万円の減益となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益はシステム障害対応費用等により3,667百万円となり、前年同期（7,817百万円）に比べ4,149百万円の減益となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

（単位：百万円、%）

セグメント	売上高				営業利益			
	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率(%)	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率(%)
健康・食品事業	21,892	20,618	△1,274	△5.8	86	△43	△130	—
乳業事業	32,341	27,261	△5,079	△15.7	△250	△2,330	△2,079	—
栄養菓子事業	28,584	29,962	1,378	4.8	2,835	2,880	45	1.6
食品原料事業	6,203	6,614	411	6.6	1,031	969	△61	△6.0
国内その他事業	30,398	30,125	△273	△0.9	866	288	△577	△66.7
海外事業	33,713	39,441	5,727	17.0	1,905	4,767	2,861	150.2
調整	—	—	—	—	1,612	2,337	724	45.0
合計	153,135	154,024	889	0.6	8,086	8,869	783	9.7

（注）調整の内容は、セグメント間取引消去・その他調整額及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

## ＜健康・食品事業＞

売上面では、“パピコ” “アイスの実”等は前年同期を上回りましたが、チルド商品出荷停止の影響により“アーモンド効果” “幼児のみもの”等が前年同期を下回りました。その結果、当中間連結会計期間の売上高は20,618百万円となり、前年同期（21,892百万円）に比べ5.8%の減収となりました。

利益面では、減収に伴う売上総利益の減少等により、営業損失は43百万円となり、前年同期（86百万円）に比べ130百万円の減益となりました。

## ＜乳業事業＞

売上面では、“ジャイアントコーン” “セブントーンアイス”等は前年同期を上回りましたが、チルド商品出荷停止の影響により“カフェオーレ” “BifiXヨーグルト”等が前年同期を下回りました。その結果、当中間連結会計期間の売上高は27,261百万円となり、前年同期（32,341百万円）に比べ15.7%の減収となりました。

利益面では、減収に伴う売上総利益の減少等により、営業損失は2,330百万円となり、前年同期（営業損失250百万円）に比べ2,079百万円の減益となりました。

#### <栄養菓子事業>

売上面では、チルド商品出荷停止の影響により“とろ〜りクリームon”等は前年同期を下回りましたが、“ポッキー”“プリッツ”等が前年同期を上回りました。その結果、当中間連結会計期間の売上高は29,962百万円となり、前年同期（28,584百万円）に比べ4.8%の増収となりました。

利益面では、増収に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は2,880百万円となり、前年同期（2,835百万円）に比べ45百万円の増益となりました。

#### <食品原料事業>

売上面では、「小麦たん白」“GMIX”等が前年同期を上回りました。その結果、当中間連結会計期間の売上高は6,614百万円となり、前年同期（6,203百万円）に比べ6.6%の増収となりました。

利益面では、売上原価率の上昇等により、営業利益は969百万円となり、前年同期（1,031百万円）に比べ61百万円の減益となりました。

#### <国内その他事業>

売上面では、卸売販売子会社の売上高、「オフィスグリコ」等が前年同期を上回りましたが、チルド商品出荷停止の影響によりキリンビバレッジ株式会社の受託販売等が前年同期を下回りました。その結果、当中間連結会計期間の売上高は30,125百万円となり、前年同期（30,398百万円）に比べ0.9%の減収となりました。

利益面では、減収に伴う売上総利益の減少等により、営業利益は288百万円となり、前年同期（866百万円）に比べ577百万円の減益となりました。

#### <海外事業>

売上面では、地域別において、中国等で前年同期を上回りました。その結果、当中間連結会計期間の売上高は39,441百万円となり、前年同期（33,713百万円）に比べ17.0%の増収となりました。

利益面では、増収及び売上原価率の低下等により、営業利益は4,767百万円となり、前年同期（1,905百万円）に比べ2,861百万円の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産

当中間連結会計期間末の総資産は372,215百万円となり、前連結会計年度末に比べ23,528百万円減少しました。流動資産は154,516百万円となり、33,948百万円減少しました。主な要因は、商品及び製品等が増加しましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金等が減少したことによるものであります。固定資産は217,698百万円となり、10,420百万円増加しました。主な要因は、ソフトウェア、投資有価証券、機械装置及び運搬具等が増加したことによるものであります。

#### 負債

当中間連結会計期間末の負債合計は97,833百万円となり、前連結会計年度末に比べ34,793百万円減少しました。主な要因は、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債等が減少したことによるものであります。

#### 純資産

当中間連結会計期間末の純資産合計は274,381百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,265百万円増加しました。主な要因は、剰余金の配当により2,543百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する中間純利益3,667百万円を獲得したこと及びその他有価証券評価差額金が4,134百万円、為替換算調整勘定が8,290百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は73.6%（前連結会計年度末比7.3ポイント上昇）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、通期連結業績予想は、2024年5月8日の「2024年12月期 第1四半期決算短信」で公表した数値から修正しておりません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	97,199	61,445
受取手形及び売掛金	48,433	40,923
商品及び製品	16,724	22,429
仕掛品	1,009	1,204
原材料及び貯蔵品	16,109	16,852
その他	9,087	11,770
貸倒引当金	△98	△108
流動資産合計	188,464	154,516
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	40,203	43,888
機械装置及び運搬具（純額）	35,585	40,647
工具、器具及び備品（純額）	5,175	6,017
土地	16,069	16,154
リース資産（純額）	1,621	2,139
建設仮勘定	12,803	3,005
有形固定資産合計	111,459	111,852
無形固定資産		
ソフトウェア	3,758	24,067
ソフトウェア仮勘定	22,477	4,134
のれん	306	2,004
その他	367	570
無形固定資産合計	26,909	30,777
投資その他の資産		
投資有価証券	46,840	53,206
退職給付に係る資産	5,639	5,811
投資不動産（純額）	12,224	12,244
その他	4,259	3,862
貸倒引当金	△55	△55
投資その他の資産合計	68,909	75,069
固定資産合計	207,278	217,698
資産合計	395,743	372,215

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,326	36,787
短期借入金	—	25
未払費用	25,837	23,798
未払法人税等	3,181	1,780
返金負債	8,383	6,622
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	30,001	—
役員賞与引当金	80	—
株式給付引当金	45	—
システム障害対応費用引当金	—	1,461
その他	10,133	7,906
流動負債合計	115,991	78,382
固定負債		
長期借入金	—	165
退職給付に係る負債	1,426	1,418
繰延税金負債	8,977	11,118
その他	6,231	6,747
固定負債合計	16,635	19,451
負債合計	132,626	97,833
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	9,894	7,133
利益剰余金	226,230	227,354
自己株式	△13,809	△13,781
株主資本合計	230,089	228,480
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,604	18,738
繰延ヘッジ損益	164	749
為替換算調整勘定	16,573	24,864
退職給付に係る調整累計額	1,111	942
その他の包括利益累計額合計	32,454	45,295
非支配株主持分	572	605
純資産合計	263,116	274,381
負債純資産合計	395,743	372,215

(2) 中間連結損益及び包括利益計算書  
(中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	153,135	154,024
売上原価	96,090	92,153
売上総利益	57,044	61,871
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	12,492	11,970
販売促進費	4,789	4,952
広告宣伝費	5,302	6,240
給料及び手当	9,945	10,880
退職給付費用	214	68
その他	16,214	18,888
販売費及び一般管理費合計	48,958	53,001
営業利益	8,086	8,869
営業外収益		
受取利息	290	414
受取配当金	325	385
為替差益	756	—
補助金収入	225	20
不動産賃貸料	306	319
投資事業組合運用益	—	93
その他	1,033	995
営業外収益合計	2,938	2,229
営業外費用		
支払利息	44	44
寄付金	244	117
為替差損	—	612
投資事業組合運用損	205	—
固定資産除却損	105	176
固定資産廃棄損	9	11
その他	186	511
営業外費用合計	795	1,473
経常利益	10,229	9,625
特別利益		
投資有価証券売却益	—	443
段階取得に係る差益	—	1,563
特別利益合計	—	2,006
特別損失		
子会社清算損	30	—
システム障害対応費用	—	5,673
特別損失合計	30	5,673
税金等調整前中間純利益	10,198	5,958
法人税、住民税及び事業税	2,290	2,209
法人税等調整額	66	68
法人税等合計	2,356	2,277
中間純利益	7,841	3,680
(内訳)		
親会社株主に帰属する中間純利益	7,817	3,667
非支配株主に帰属する中間純利益	24	13



（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年6月30日）
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,251	4,134
繰延ヘッジ損益	688	584
為替換算調整勘定	5,416	7,743
退職給付に係る調整額	△95	△168
持分法適用会社に対する持分相当額	728	575
その他の包括利益合計	9,989	12,870
中間包括利益	17,830	16,550
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	17,787	16,508
非支配株主に係る中間包括利益	43	41

（3）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2024年6月3日付で連結子会社である株式会社Greenspoonの株式を追加取得し、完全子会社といたしました。この結果、当中間連結会計期間において資本剰余金が2,777百万円減少しております。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

（連結の範囲の重要な変更）

当中間連結会計期間において、当社の持分法適用関連会社であった株式会社Greenspoonに対して融資を実行した結果、当該融資が同社の資金調達額の総額の過半を超えたことに伴い、実質支配力基準に基づき子会社となったため、連結の範囲に含めております。

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、従来、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法は主に定率法を採用しておりましたが、当中間連結会計期間より、定額法に変更しております。

当社は、粉ミルクの生産拠点を、老朽化した柏原工場から岐阜の新工場に移転させることを契機に、有形固定資産の使用実態を見直し、減価償却方法を再検討いたしました。その結果、今後は長期的に安定的な稼働が見込まれることから、取得価額を使用可能期間にわたり均等に費用配分する定額法が、有形固定資産の使用実態をより適切に反映させることができると判断いたしました。

この変更により、従来の方法に比べて、当中間連結会計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前中間純利益は、それぞれ693百万円増加しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自2023年1月1日 至2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	中間連結損益及び包括利益計算書計上額(注) 2
	健康・ 食品 事業	乳業 事業	栄養 菓子 事業	食品 原料 事業	国内 その他 事業	海外 事業	計		
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	21,892	32,341	28,584	6,203	30,398	33,713	153,135	—	153,135
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	21,892	32,341	28,584	6,203	30,398	33,713	153,135	—	153,135
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	152	4,831	—	4,983	△4,983	—
計	21,892	32,341	28,584	6,356	35,230	33,713	158,119	△4,983	153,135
セグメント利益又は損 失(△)	86	△250	2,835	1,031	866	1,905	6,473	1,612	8,086

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額1,612百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額962百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等650百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、中間連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間（自2024年1月1日至2024年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							調整額 (注) 1	中間連結損益及び包括利益計算書計上額(注) 2
	健康・食品事業	乳業事業	栄養菓子事業	食品原料事業	国内その他事業	海外事業	計		
売上高									
顧客との契約から生じる収益	20,618	27,261	29,962	6,614	30,125	39,441	154,024	—	154,024
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	20,618	27,261	29,962	6,614	30,125	39,441	154,024	—	154,024
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	156	6,957	—	7,113	△7,113	—
計	20,618	27,261	29,962	6,771	37,082	39,441	161,137	△7,113	154,024
セグメント利益又は損失(△)	△43	△2,330	2,880	969	288	4,767	6,532	2,337	8,869

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額2,337百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額1,014百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等1,322百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、中間連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

当中間連結会計期間において、株式会社Greenspoonを連結の範囲に含めたことにより、「国内その他事業」において、のれんが1,771百万円発生しております。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却の方法については、従来、当社及び国内連結子会社は主として定率法を採用していましたが、当中間連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更により、従来の方法と比べて、当中間連結会計期間のセグメント利益が「健康・食品事業」で90百万円、「乳業事業」で389百万円、「栄養菓子事業」で164百万円、「食品原料事業」で16百万円、「国内その他事業」で31百万円それぞれ増加しております。

## 決算短信補足説明資料

-24年12月期 第2四半期（中間期）決算-

連結経営成績（百万円未満、百万円未満、百万米ドル未満は切り捨て）

(1) 売上高・利益の概況

単位：百万円

	23/12期 (1月-6月)	24/12期 (1月-6月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	153,135	154,024	889	0.6
営業利益	8,086	8,869	783	9.7
経常利益	10,229	9,625	△604	△5.9
当期純利益	7,817	3,667	△4,149	△53.1

(2) 営業利益の状況

単位：百万円

	23/12期		24/12期	
	(1月-6月)	売上比(%)	(1月-6月)	売上比(%)
売上高	153,135	100.0	154,024	100.0
売上原価	96,090	62.7	92,153	59.8
売上総利益	57,044	37.3	61,871	40.2
運賃保管料	12,492	8.2	11,970	7.8
販売促進費	4,789	3.1	4,952	3.2
広告費	5,302	3.5	6,240	4.1
人件費・厚生費	15,544	10.2	16,719	10.9
経費・償却費	10,829	7.1	13,117	8.5
販売費及び一般管理費	48,958	32.0	53,001	34.4
営業利益	8,086	5.3	8,869	5.8

営業利益の増減要因	対23/12期 (1月-6月)	
	内	国内
①売上高増減による増減益	892	△1,441
②原材料価格変動による増減益	△1,837	△2,533
③原価のその他変動による増減益*	5,698	4,045
④運賃保管料比率変動による増減益	594	349
⑤販売促進費・広告費増減による増減益	△1,101	△271
⑥一般管理費増減による増減益	△3,463	△2,227
合計	783	△2,078

\* 販売品種構成の変化等の増減益を含む

(3) セグメント別売上高の状況

単位：百万円

		23/12期 (1月-6月)	24/12期 (1月-6月)	前年同期比	
				金額	増減率(%)
健康・食品事業	健康	6,144	4,341	△1,802	△29.3
	アイスクリーム	8,142	9,462	1,319	16.2
	その他	7,605	6,814	△791	△10.4
	計	21,892	20,618	△1,274	△5.8
乳業事業	発酵乳	5,941	3,267	△2,673	△45.0
	アイスクリーム	12,717	14,723	2,006	15.8
	その他	13,683	9,271	△4,412	△32.2
	計	32,341	27,261	△5,079	△15.7
栄養菓子事業	チョコレート	16,290	17,526	1,236	7.6
	ビスケット	9,526	10,737	1,210	12.7
	その他	2,767	1,698	△1,069	△38.6
	計	28,584	29,962	1,378	4.8
食品原料事業		6,203	6,614	411	6.6
国内その他事業		30,398	30,125	△273	△0.9
海外事業		33,713	39,441	5,727	17.0
合計		153,135	154,024	889	0.6

## (4) セグメント別営業利益の状況

単位：百万円

	23/12期 (1月-6月)	24/12期 (1月-6月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
健康・食品事業	86	△43	△130	－
乳業事業	△250	△2,330	△2,079	－
栄養菓子事業	2,835	2,880	45	1.6
食品原料事業	1,031	969	△61	△6.0
国内その他事業	866	288	△577	△66.7
海外事業	1,905	4,767	2,861	150.2
調整	1,612	2,337	724	45.0
合 計	8,086	8,869	783	9.7

## (5) 海外事業－地域別の売上高、営業利益

\* 以下の数値については、管理会計上の数値であり連結財務諸表数値とは異なります。  
また、地域区分についても連結財務諸表とは異なります。

## ◆中国

単位：百万円

	23/12期 (1月-6月)	24/12期 (1月-6月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	694	898	203	29.3
営業利益	56	139	83	147.6

## ◆ASEAN

単位：百万米ドル

	23/12期 (1月-6月)	24/12期 (1月-6月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	64	64	△0	△0.7
営業利益	△0	0	0	－

※23/12期(1-6月)の実績は、24/12期(1-6月)の平均レートで置き換えています。

## ◆米国

単位：百万米ドル

	23/12期 (1月-6月)	24/12期 (1月-6月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	58	50	△8	△14.3
営業利益	9	15	6	65.4

※米国については、連結ベースの数字です。

## 連結業績予想

(1) セグメント別売上高の通期予想

単位：百万円

	23/12期 (1月-12月) 実績	24/12期 (1月-12月) 前回発表予想	24/12期 (1月-12月) 今回予想	前年同期比	
				金額	増減率(%)
健康・食品事業	50,499	49,000	48,500	△1,999	△4.0
乳業事業	69,675	60,000	60,000	△9,675	△13.9
栄養菓子事業	61,890	63,700	63,200	1,309	2.1
食品原料事業	13,348	13,700	13,700	351	2.6
国内その他事業	65,962	63,600	65,600	△362	△0.6
海外事業	71,214	86,000	85,000	13,785	19.4
合計	332,590	336,000	336,000	3,409	1.0

(2) セグメント別営業利益の通期予想

単位：百万円

	23/12期 (1月-12月) 実績	24/12期 (1月-12月) 前回発表予想	24/12期 (1月-12月) 今回予想	前年同期比	
				金額	増減率(%)
健康・食品事業	2,064	800	800	△1,264	△61.2
乳業事業	529	△3,300	△3,300	△3,829	—
栄養菓子事業	6,525	5,790	4,800	△1,725	△26.4
食品原料事業	2,427	2,090	2,090	△337	△13.9
国内その他事業	2,047	1,100	1,180	△867	△42.4
海外事業	4,165	8,000	8,000	3,834	92.1
調整	862	△480	430	△432	△50.1
合計	18,622	14,000	14,000	△4,622	△24.8